

# 放課後等ディサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日： 令和 8年 2月 11日

回答数：

43件

事業所名：こども発達さぼーとセンター るぼろ

区分		チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価		保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1	利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	定員規定は満たしています。活動内容やグループの特性に応じて、複数の部屋を利用したり、安全を考慮して部屋のパーテーションを外すことで広いスペースを確保するなどしています。	はい 41 どちらでもない 0 いいえ 1 わからない 1	・待機している人がいるため、十分とは言えない。	引き続き、活動に応じて必要なスペースを確保していきます。また、子どもの様子に応じて小集団をさらに少人数に分けて活動を展開するなどして、満足感を感じられるようにしていきます。
	2	職員の適切な配置	グループに2～3人の職員を配置し、配置上必要な人員を確保しています。また、活動や状況に応じて、増員しています。	はい 37 どちらでもない 1 いいえ 1 わからない 4	・待機している人がいるため、十分とは言えない。 ・よく見守っていただいていると思います。 ・子どものクラスに関しては適切。他は存じていないです。	引き続き、活動に応じて必要な職員を配置するとともに、個別での対応が必要な場合は職員内で連携をとって対応したり、施設全体で見守っているように活動を周知していきます。
	3	本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	写真や絵カード等の視覚支援でスケジュールを提示したり、意思確認のためのツールとして利用しています。	はい 39 どちらでもない 1 いいえ 0 わからない 3		引き続き、個々に合わせた意思表示の方法を検討しながらわかりやすい環境や活動内容を提供していきます。また、保護者の方が施設内や子どもの様子を見学して頂きやすいよう声かけに努めます。
	4	清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	子どもの状況に応じて、活動部屋、リラックスルーム、運動部屋などを設定しています。また、こども園と併設のため、外遊びには園庭も活用しています。	はい 41 どちらでもない 1 いいえ 0 わからない 1		子どもの状況に合わせて部屋を使い分け、安全に心地よく過ごせるようにしていきます。また、設定された部屋のねらいについて、保護者にもわかりやすく伝えていきます。
業務改善	1	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	日々の療育終了後または会議等で振り返りを行い、職員間で子どもそれぞれに合わせた対応方法や子どもの様子を共有し、業務改善を進めています。			引き続き、会議の中でPDCAサイクルを行い、話し合いの時間を設けることで業務改善に努めていきます。
	2	第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	実施していません。			第三者評価の受審については、引き続き検討していく予定です。
	3	職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	オンライン研修を月1回必ず受け、質の向上やそれぞれの振り返りに繋げています。また、それぞれ必要な研修にも参加しています。加えて、研修後には研修報告を行い情報共有をしています。			オンライン研修等を活用し、様々な分野の研修を受講できるようにします。受講したものは職員間で報告をすることで、質の向上へ繋げていきます。
適切な支援	1	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での放課後等ディサービス計画の作成	各子ども半年に1回以上、職員全員で支援会議を行っています。日々の子どもの様子、保護者とのやりとりに加えて、相談支援からの計画やモニタリングを共有し、その上で目標設定を行い、児発管が計画の作成を行っています。	はい 40 どちらでもない 3 いいえ 0 わからない 0	・改善されている部分も感じるが、更なる改善に向けて目標が不透明で計画的とは言えない。	本人、保護者の意向を踏まえて計画を作成し、ニーズや課題を明確にしていきます。説明の際には、必要に合わせて本人や保護者(ご両親等)に見ていただけるようにします。

区分		チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価		保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
援 の 提 供	3	放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	支援計画の中で専門用語を少なくし、できるだけ具体例を挙げるなどしてわかりやすく書けるように努めています。	はい 39 どちらでもない 4 いいえ 0 わからない 0	・改善されている部分も感じるが、更なる改善に向けて目標が不透明で計画的とは言えない。	計画の内容や活動をお知らせする際には、活動内容のねらいや目的のわかりやすく伝えるようにしていきます。
適 切 な 支 援 の 提 供 ( 続 き )	4	放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	個々の計画内容を曜日ごとの一覧にし、活動の中にどのように計画内容を取り入れるかを検討しながら打ち合わせを行っています。グループによっては、継続的に支援を実施できるように、個別課題の時間を固定化することも行っています。	はい 39 どちらでもない 1 いいえ 0 わからない 3	・計画は提示されるが、実施の有無は不明瞭。	計画に記載している内容をどのような形で実施しているのか、また実施した際の本人の様子を丁寧にフィードバックしていきます。必要に合わせて、保護者(ご両親等)にお知らせしていただけるように声をかけていきます。
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	活動の月間計画を立て、見通しを持って取り組めるようにしています。その中には子どもの意見も取り入れることで子どもが主体的に楽しんだり、一緒に作り上げられるようにすることで達成感にも繋がっています。また、その中で個々に合わせた養ってほしい力をチームで考えて取り入れています。			
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	学校休業日(土曜日)や長期休暇期間には療育時間を変更し、長時間の利用が出来るようにしています。また、支援前後の延長利用も実施することで、保護者の要望に応えられるようにしています。			保護者のニーズを聞き取りながら必要な支援を検討していきます。
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	必要に応じて活動のある程度固定化して定着を図っていることもあります。固定化された活動の中にもルールや約束に変化を加えたり、役割を取り入れるなどして、発展できるようにしています。	はい 36 どちらでもない 6 いいえ 0 わからない 1	・他のプログラムと比較が出来ない。	他グループの様子をるぼろ便りに写真掲載するなどして、実施内容をメールでお知らせしていきます。固定化されているプログラムに関しては、ねらいや目的を明確に保護者にお伝えし、共有していきます。
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	活動前に職員間で活動内容や役割を確認、相談してから活動を行っています。必要に合わせて、担当以外にも活動内容を周知し、施設全体で見守れるようにしています。			
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	療育終了後には振り返りを実施しています。勤務時間の関係上、十分な時間が取れない場合には、改めて時間を設定し、必要に合わせて多職種での話し合いや意見交換も行い、情報の共有をしています。			

区分		チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	記録を見ることで子どもの姿が捉えられるような日誌になるようにしています。記録を確認しながら支援の改善を考えています。また、毎月全員分の記録を確認し、正確な記録の徹底を行っています。		
	11	定期的なモニタリングの実施及び放課後等デイサービス計画の見直し	半年に1回以上、支援計画の見直しを行っています。モニタリングは利用時の様子を月に1回、相談支援事業所にお知らせしています。		
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へ参画	児発管を基本とし、必要に合わせて多職種の視点を取り入れるために複数職員で出席しています。		
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施			
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備			
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	同施設内、児童発達支援事業所とは引継ぎをするなどして、円滑な移行支援になるようにしています。		
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供	保護者に対しては終了時に現状等をまとめた報告書をお渡ししています。併せて、必要に応じて書面を用いながらの情報提供を行っています。		
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	研修内容と対象となる職員を検討しながら、専門機関による研修を受けています。		

区分		チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価		保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	7	児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	公共施設の利用により地域の子どもの交流を図っています。また、併設しているこども園と園庭を共有して遊んだり、放課後等デイサービスの利用児が設定する夏祭り等の遊びに招待するなどして関わりの機会を設けています。	はい 16 どちらでもない 2 いいえ 4 わからない 21	・いつも丁寧にみてもらっています。	引き続き、こども園と園庭等の共有を行いながら、関わりの機会を提供していきます。また、公園等の地域資源も利用し、様々な子どもたちとの関わりの機会を設けていきます。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	太子町内で開催される福祉フェスティバルに参加し、利用児が出店の手伝いをする事で、地域の方との交流を図りました。			
保護者への説明責・連携支援	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	契約時には、重要事項説明書を基に、支援の内容、利用者負担等の説明を行っています。変更時にはメールでのお知らせに加えて、保護者に直接、説明を行っています。	はい 43 どちらでもない 0 いいえ 0 わからない 0	・内容の変更があった時、説明して下さいます。	引き続き、保護者の方に安心して利用してもらえるよう契約内容の変更があった時や料金等の変更があった時には、メールでのお知らせや説明会を設けます。
	2	放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	計画更新時には保護者に面談の時間を頂き、計画を提示しながら説明と確認を行っています。了承を得たうえで、署名をしていただいています。	はい 43 どちらでもない 0 いいえ 0 わからない 0		支援計画内容を説明する際には、分かりやすい言葉で具体的な活動内容等を伝えていきます。子どもの強みを重視した取り組みを伝えていきます。また、子どもによっては、説明時に一緒に聞いてもらえるよう説明をし、ご本人とも目標の確認を行っています。
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	外部講師や利用児の保護者が講師となるなど、様々な分野の親講座を実施しています。	はい 42 どちらでもない 1 いいえ 0 わからない 0	・日程が合わず、参加できないです。 ・なかなか行けていませんが、年々講座も増え、内容も充実していると思います。	保護者の意見を伺いながら、必要な講座を企画します。開催日時についても、複数日設けるなど柔軟な対応を図ります。
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	療育終了後にそれぞれにフィードバックを行ったり、連絡帳に当日のご様子を記入してお渡しします。必要に応じて面談も実施しています。	はい 41 どちらでもない 2 いいえ 0 わからない 0	・連絡帳にたくさん書いて下さり、ありがとうございます。	引き続き、療育終了時には丁寧に活動の様子を伝えていきます。ねらいに合わせた様子や有効な支援があった際には共有し、ご家庭での様子も伺いながら、統一した関わりが出来るようにしていきます。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	保護者の方から相談があったときには面談の時間を設定し、個別でお話をさせていただいています。連絡事項や相談がある時には連絡帳に記入して頂いています。	はい 42 どちらでもない 1 いいえ 0 わからない 0		保護者から相談があった際には面談の時間を提案いたします。活動時の様子と合わせてご家庭で出来る方法も一緒に考えます。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	不定期ではありますが、父親の会を実施しています。また、希望者には保護者交流会に参加していただいています。	はい 23 どちらでもない 7 いいえ 1 わからない 12	・参加は出来ていないです。	引き続き、多角的な視点でお子様の支援を行っていただけるよう父親の会を実施したり、保護者同士の交流の機会を設けることで、保護者間での繋がりが出来るようにしていきます。



区分		チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価		保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	要事項説明書に記載して契約時に説明するとともに、事業所にも掲示しています。苦情があった時には、すぐに管理者に報告し対応に努めています。また、毎月のリスクマネジメント会議で報告しています。	はい 27 どちらでもない 0 いいえ 1 わからない 14	・今まで特に何もありません。 ・苦情案件があるかどうか分からないので、知りえません。説明は受けています。	苦情を受け付けた時は、できるだけ当日中に対応することを基本とし、保護者の方の思いをしっかりとかき取り、聞き取りをさせていただき解決に向けて迅速に取り組んでいきます。
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	必要事項や活動時のご様子などはメールや写真、視覚支援を用いたノートなどでお知らせしています。	はい 42 どちらでもない 0 いいえ 0 わからない 1	・メールでの荷物の準備リストはとても助かっています。	引き続き、グループや個別に対応してメール等や視覚支援を用いて情報共有を行っていきます。
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	毎月るぼろ便りをメールで配信し、予定や各グループの活動紹介をしています。また、グループごとに月ごとの活動予定をお知らせしています。	はい 42 どちらでもない 1 いいえ 0 わからない 0		引き続き、おたよりや活動予定、準備リスト等を保護者の方にはメールでお知らせしていきます。ご本人には視覚支援等を用いながら毎週行い、見通しを持って参加していただけるようにします。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	契約時に個人情報の取り扱いについて説明し了承を得たうえで同意書にサインを頂いています。個人情報が含まれるものを発信するときには、複数のチェックをするなどして、職員の意識向上にも努めています。	はい 41 どちらでもない 0 いいえ 0 わからない 2		個人情報の管理を徹底し、安心してご利用して頂けるように努めていきます。
非常時等	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	感染症に関しては、併設するこども園と一緒に感染症対策委員会を立ちあげて、研修を行ったり、オンライン研修も利用しながら適切に対応できるように努めています。また、流行時期に合わせて情報発信をしています。緊急時対応マニュアルは送迎時や外出時にも対応できるように作成し、職員内で周知しています。	はい 34 どちらでもない 1 いいえ 1 わからない 6	・これといった説明はないかと思っています。	マニュアルについても必要に応じて保護者の方へ周知できるようにしていきます。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	毎月1回、施設全体で様々な場面を想定し訓練を実施しています。放課後等デイサービス利用時の時間に合わせた実施も行っています。	はい 36 どちらでもない 0 いいえ 0 わからない 6		引き続き、放課後等デイサービス独自で子どもと一緒に行うことに加えて、施設全体での実施に子どもたちが参加できるようにしていきます。また、職員が正しい知識を持てるように確認を行っていきます。
	3	虐待を防止するための職員研修の機会の確保等の適切な対応	虐待防止に関する責任者を選定し、虐待の防止を啓発・普及するための研修を実施しています。定期的に虐待防止委員会を実施したり、事例検討会を実施するなどして、人権擁護についても考える機会を設けています。			

区分		チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価		保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
の 対 応	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での放課後等デイサービス計画への記載	契約時に説明しています。身体拘束に対する考え方、受け止め方の共通理解をし、必要な場合においては適切な手順で対応します。また、支援計画に記載を必要とする児に関しては、計画更新時に振り返りと説明を行っています。			
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	契約時、アレルギーについてチェック記入していただき、クッキングの際には、保護者の方に使用する食材の中でアレルギーがないかの確認をしています。			
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	ヒヤリとした場面があったときには報告、共有しています。施設全体で月1回リスクマネジメント会議を実施し、その際にも改めて共有し、未然に防ぐことの出来る対策を考え、安全に過ごすことが出来る環境を構成することに努めています。			
満 足 度	1	子どもは通所を楽しみにしているか	子どもと一緒に活動を決めていき、好きなことややってみたいという子どもの思いを尊重しながら活動を行っています。また、見通しが持てるように子どもに合わせたお知らせを行っています。	はい 39 どちらでもない 4 いいえ 0 わからない 0	・利用日を楽しみにしています。 ・10年も利用しているが、一度も行きたくないと言ったことがない。大満足しています。	引き続き、子どもの思いを尊重しながら、活動を行っています。子どもの「やってみたい」思いをどのような方法で形にしていくのかを一緒に考えることでチャレンジすることに繋げ、来所を楽しみにしてもらえるようにします。
	2	事業所の支援に満足しているか		はい 41 どちらでもない 2 いいえ 0 わからない 0	・送迎してほしいです。 ・いつもありがとうございます。 ・宿題を終わらせて帰ってきてくれると助かります。	今後も、子どもや保護者の方の要望に沿った支援が出来るよう、職員の質の向上を図ったり、多職種で連携しながら支援が出来るよう努めていきます。